



新春のお慶びを 申し上げます

新春を迎え 長く続くコロナ蔓延の中
皆様とご家族様のご健康と ご活躍を
お祈りいたします

この一文を 年賀葉書に代え私の年賀状
として 配信先の皆様にお届けいたします
研究会の人達を中心に 170 人程の方々に
この「色彩教材研究会通信」を編集し毎週
木曜日にメール配信して 六年近くになり
ました 周りに配信ご希望の方がいらっ
しゃいましたら 送らせて頂きますので
お知らせください

春三月には八十七歳になる私は 七度目
の孤独なお正月を迎えました

私の近況は 足の麻痺が進行して 歩行
と立居振舞が不自由となり ラジオ体操と
杖をついての低速散歩が日課です

巣ごもりしながら ぼけ防止も兼ね ある
月刊会員誌に一頁一年間の連載中です
お身体を大切にお過ごし下さると共に
学会活動にもご協力をお願いいたします

令和五年 新春

永田泰弘

● 環境色彩研の研究発表者の募集

環境色彩研究会で、2022 年度研究発表会
が開催され、発表者を募集しています。

◆開催日時：2023 年 2 月 25 日（土）午後。

◆会場：ZOOM によりオンライン開催。

◆応募資格：1) 環境色彩研究会会員、
2) 日本色彩学会会員、
3) 1 と 2 に該当する者を指導者とする学生。

◆応募方法：発表題目と、研究発表趣旨 A
4 版 1 枚以内と、著者の所属と連絡先を送信。

◆申込締切締切：2023 年 1 月 10 日（火）

◆送 信 先：萩原京子主査まで。
(kyoko.hagiwara@jp.sunstar.com)
メールタイトルを「環境色彩研究発表会 発
表申込」として下さい。上記申請内容により、
研究発表の採否がメールで通知されます。

◆発表論文原稿の提出：
原稿：A4 版 4 頁以内（写真・図表を含む）
提出締切：2023 年 2 月 10 日（金）必着。
原稿は Word 書式と、PDF 化したデータの
両方提出のこと。送 信 先は上記 e-mail まで。

◆発表形式：口頭発表またはポスター発表。
口頭発表は、発表 12 分・質問 3 分を予定。

◆発表論文原稿は、研究会誌「環境色彩研究」
に掲載されます。

(学会メールニュース No.370 から引用・永田泰弘)

● 色名に採用したい季語— 6

ある単語が持つ意味は厳密なものではな
く、広い幅をもっている。
色も同様に広い幅を持っていることを認識し
て、ここに示す色票の色を解釈して欲しい。

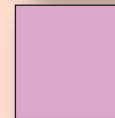
● 山繭色（やままゆいろ）・晩春
ヤママユ蛾が作る黄緑色の大きな
繭の色。(C30Y50)



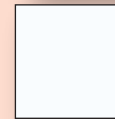
● 青柳色（あおやぎいろ）・晩春
青々と茂った柳の葉の色。
(C50Y60)



● 石楠花色（しゃくなげいろ）・晩春
深山の溪谷沿いに咲くツツ
ジ科の赤紫系の花。(C10M40)



● 雪柳色（ゆきやなぎいろ）・晩
春 小米花ともいう。白くて小さ
い花が雪のように咲く。(C2)



● 梅雨空色（つゆぞらいろ）・初
夏 梅天とも呼ばれる梅雨のどん
よりとした曇り日の空の色。(K30)



● 早苗色（さなえいろ）・初夏
苗代から移したばかりのみづみづ
しい稲の苗の色。(C40Y80)



● 金雀枝色（えにしだいろ）・初
夏 マメ科の小低木の黄色の蝶型
花の色。(M10Y100) (永田泰弘)

